

こんにちは！リハビリ部、事務職の竹野です。2015年4月に脳出血を起こし、半身不随と失語症になりまして、日扇会の通所リハビリに通い懸命に訓練していました。医療としては素人ですが、いろいろと発言していきたいと思いますので、宜しくお願いいたします。



## リハビリインタビュー⑨ ～バイク大好き！理学療法士・小島美幸さん～

「私は車とかオートバイとか乗り物が大好きで、19歳の時に初めて友達のオートバイ後ろに乗せてもらいました。乗せてもらっているうちに、自分でオートバイの免許を取りたくなって中型免許を取りに行っただけです。その時は自動車の免許は持っていたので2輪は少しの教習と実技だけで済んですぐ取れたんですけどね。それで教習所に行ったら2輪の教官が倒してあるHONDAの400ccのバイクを起こせたら入校させてあげるよって言われたんです。19～20歳の私は今よりもっと細くて、大人しそうな女の子だったんですが、ずっと運動部でテニスをやっていたので腕力はあったので、400ccのバイクを起こせてしまったんです。先生が「じゃあしょうがない、



入れてやる」って言って入れてくれました。免許を取ってからHONDAのレブルって言うアメリカンバイクを買って、乗ってましたね。9つ下の弟がいるんだけど、私が免許を取った時に弟もちょうど興味を持っていて、後ろに乗せてあげてドライブに連れて行ったんです。そして弟が途中で気持ちよくなって居眠りしだしたっていうのを思い出します。その弟は今は限定解除の大きなバイクを乗っていますよ。元々は父が幼稚園のバスの運転手だったっていうのもあって乗り物が好きになったんです。それもあ

ったんですが大型バスの免許も取りました。取った時は、うちの父親が喜んだなあ。「よくとれたねえ。」って言って。難しいんで、大型は。愛知県から長野行ったり、岐阜、三重それから石川県の山と海を遊んでました。」 一番印象に残った場所はどこですか？「野麦峠かなあ、岐阜県と長野県の県境にあるんです

けど。昔、女の子達が売られて、野麦峠を越えて行ったって言う歴史的な背景を知っちゃてるから…この峠を歩いて行ったのかなあって思うと同じ女性として考えさせられますね。」 小島さんがオートバイに乗っていたなんてビックリです！それもアメリカンバイクなんて渋くて格好いいですね！



一番長く乗ったレブル

一番最後に乗ったジェベル



## 十五夜とうさぎ



2021年の十五夜は9月21日の火曜日です。で、十五夜といえはうさぎですよ。僕は童謡の「うさぎ、うさぎ、なにを見て跳ねる。十五夜お月さん見て跳ねる。」という歌から覚えましたけど。満月にうさぎがいるっていうのはインドのジャータカ神話が日本に伝わり、平安時代に『今昔物語集』に書かれたことが由来と言われているんだって。まあ、僕はお月見よりもお団子の方がいいけどね♡機会があれば十五夜のお話を色々探してみても面白そうですね。